

平成30年度 学校評価書 (自己評価・学校関係者評価)

めざす学校像	大学進学をめざし、進路目標の達成に向けて生徒と教職員が一丸となってチャレンジする学校
--------	--

達成度	5	達成
	4	概ね達成
	3	普通
	2	やや不十分
	1	不十分

重点目標	1 確かな学力の定着と学び続ける態度の育成
	2 計画的・組織的なキャリア教育・進路指導の推進
	3 自他の尊重と主体的に行動する力の育成
	4 健康管理と危機管理体制の強化
	5 信頼される学校づくり

自 己 評 価							学校関係者評価	
番号	評価項目	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	確かな学力の定着と学び続ける態度の育成	(1) 授業改善・授業研究による教科指導力の向上 わかる授業の徹底 (教務、教科)	5段階自己評価 の平均3.5以上	5段階自己評価 の平均= 3.5	3	必要な学力が確実に身につく指導	B	
		(2) 探究型学習の研究と推進(教務、年次、教科)	〃	5段階自己評価 の平均= 3.5	3	本校課題探究の充実と再構成	B	今求められる学力、レベルアップして、更なる充実を
		(3) 教務・教科・年次の連携による家庭学習の充実 (教務・教科・年次)	〃	5段階自己評価 の平均= 3.4	3	学習習慣の定着 家庭学習課題の出し方の再検討	C	家庭との情報交換をより密接に
2	計画的・組織的なキャリア教育・進路指導の推進	(1) 計画的なキャリア教育の実践。特に職業について学ぶ機会の充実 (進路、年次)	5段階自己評価 の平均3.5以上	5段階自己評価 の平均= 4.1	5	継続したキャリア教育 進路指導、課題探究との連携	A	生徒にとっても良い刺激となっている
		(2) 推薦入試等の分析と小論文・面接指導の充実、制度改革への対応 (進路、教科、年次)	〃	5段階自己評価 の平均= 4.1	5	次年度の入試改革への対応準備	A	進路指導をいねいにやっている
3	自他の尊重と主体的に行動する力の育成	(1) 家庭との連携による基本的生活習慣の定着 (年次、生徒、保健)	5段階自己評価 の平均3.5以上	5段階自己評価 の平均= 3.6	3	スマホのルール遵守、使い方の自制	C	家庭との情報交換をより密接に
		(2) 部活動・生徒会活動・学校行事への積極的参加 (生徒、部顧問、年次)	〃	5段階自己評価 の平均= 4.1	5	県部活動方針に基づく活動の在り方	A	生徒数の減少の中で、よく頑張っている
		(3) いじめ防止のための諸活動 (生徒、年次)	〃	5段階自己評価 の平均= 3.8	4	生徒理解の深化 情報共有	A	十分に対策を取っていることが感じられる
4	健康管理と危機管理体制の強化	(1) 教育相談の充実と不登校傾向の生徒の早期発見と適応指導 (保健、年次)	5段階自己評価 の平均3.5以上	5段階自己評価 の平均= 4.0	5	組織的な支援の充実 連携強化	A	十分に対策を取っていることが感じられる。
		(2) 危機管理マニュアルの点検と周知 (総務、図書情報、年次)	〃	5段階自己評価 の平均= 3.8	4	緊急連絡メールの更なる活用	B	
5	信頼される学校づくり	(1) 地元の行事や活動への積極的参加、地域に開かれた学校 (生徒、部顧問、教科)	5段階自己評価 の平均3.5以上	5段階自己評価 の平均= 3.6	3	新たな連携の検討 関わりの重視	B	地域の情報や要望を吸い上げる方法を検討する必要あり
		(2) 学校HPや学校説明会等による教育活動の積極的な発信 (図書情報、教務)	〃	5段階自己評価 の平均= 3.6	3	北高の学校像の明確化	B	北高の将来像をぜひ描いて欲しい
		(3) 県民・地域住民・保護者等の期待に応えられる学校運営 (全分掌)	〃	5段階自己評価 の平均= 3.8	4	学校評価の学校運営への反映	A	北高で学んだ生徒の姿が地域の信頼に繋がっている
学校関係者評価基準		A:十分評価できる B:まずまず評価できる C:どちらとも言えない D:一部見直しが必要である E:根本的な見直しが必要である						
学校関係者評価を踏まえた改善点等		変化に対する十分な準備と対応 (学級減・高大接続改革等)、授業改善と探究学習の充実、保護者・地域との連携を更に重視した学校運営						